

目 次

I 研究論文

- (1) 筑摩（長野）県の教育をめぐる名望家層の位相
—民権派教員との関わりから—
塩原 佳典（日本学術振興会特別研究員） … 6
- (2) 明治10年代における教育事務の再編
—「行政国家」形成の視点から—
湯川 文彦（日本学術振興会特別研究員） … 19
- (3) 富士川游と治療教育学
—教育病理学における“治療”と“教育”の架橋—
前田 晶子（鹿児島大学） … 32
- (4) 小学校社会科教科書『あかるい社会』と桑原正雄
—資本制社会における「郷土」を問う教育の地平—
須永 哲思（京都大学・大学院生） … 45
- (5) 戦後日本の家族計画運動における受胎調節指導の変容
—実地指導員としての助産婦の役割拡大と困難化—
高木 雅史（中央大学） … 58
- (6) 台南神学校『校友会雑誌』（1928年—）にみる「台湾人」意識
三野 和恵（日本学術振興会特別研究員/京都大学・大学院生） … 71
- (7) 能力心理学としての骨相学
—能力概念形成史の視角から見たその教育史的意義—
平野 亮（神戸大学・研究員） … 84
- (8) F.G. ボンサーによる初等教育カリキュラムの開発過程
—インダストリアル・アーツの性格とプロジェクトの系譜—
遠座 知恵（東京学芸大学） … 97

II 教育史学会第56回大会記録

- (1) 個人発表一覧 … 112
- (2) コロキウム一覧 … 116
- (3) シンポジウム：多文化教育の歴史と現在～多文化から公教育を再考する～
シンポジウム趣旨説明 米田 俊彦（お茶の水女子大学） … 117
報告
イギリスの人の移動と多文化教育の展開—日本の教育との関連で—
佐久間孝正（東京女子大学名誉教授） … 119
アメリカ合衆国の公教育における人種主義と多文化教育
中村（笹本）雅子（桜美林大学） … 125

公教育と多文化教育—近現代中国におけるエスニック・マイノリティに焦点を当てて—

新保 敦子 (早稲田大学)…………… 131

指定討論

報告へのコメント

駒込 武 (京都大学)…………… 137

多文化教育の歴史と現在～多文化から公教育を再考する～

宮腰 英一 (東北大学)…………… 140

討論のまとめ

小玉 亮子 (お茶の水女子大学)…………… 142

Ⅲ 書評

(1) 鈴木理恵 著『近世近代移行期の地域文化人』

木村 政伸 (新潟大学)…………… 146

(2) 田中智子 著『近代日本高等教育体制の黎明—交錯する地域と国とキリスト教界』

荒井 明夫 (大東文化大学)…………… 148

(3) 柏木 敦 著『日本近代就学慣行成立史研究』

軽部勝一郎 (熊本学園大学)…………… 150

(4) 武石典史 著『近代東京の私立中学校—上京と立身出世の社会史—』

三上 敦史 (北海道教育大学)…………… 153

(5) 小山みずえ 著『近代日本幼稚園教育実践史の研究』

太田 素子 (和光大学)…………… 156

(6) 河合隆平 著『総力戦体制と障害児保育論の形成—日本障害児保育史研究序説—』

志村 聡子 (立正大学)…………… 159

(7) 山本一生 著『青島の近代学校—教員ネットワークの連続と断絶』

蔭山 雅博 (専修大学)…………… 161

(8) 山下達也 著『植民地朝鮮の学校教員—初等教員集団と植民地支配—』

本間 千景 (佛教大学・京都女子大学非常勤講師) …… 164

(9) 三時眞貴子 著『イギリス都市文化と教育—ウォリントン・アカデミーの教育社会史』

安川 哲夫 (筑波大学)…………… 167

(10) 宮澤康人 著『<教育関係>の歴史人類学 タテ・ヨコ・ナナメの世代間文化の変容』

渡邊 隆信 (兵庫教育大学)…………… 169

Ⅳ 図書紹介

(1) 釜田 史 著『秋田県小学校教員養成史研究序説—小学校教員検定試験制度を中心に—』

井上恵美子 (フェリス学院大学)…………… 174

(2) 難波知子 著『学校制服の文化史—日本近代における女子生徒服装の変遷』

桑田 直子 (武蔵野美術大学非常勤講師) …… 175

(3) 太田素子・浅井幸子 編『保育と家庭教育の誕生 1890-1930』	湯川嘉津美 (上智大学) ……………	177
(4) 山本悠三 著『近代日本の思想善導と国民統合』	須田 将司 (東洋大学) ……………	179
(5) 木村 元 編著『日本の学校受容 教育制度の社会史』	前田 一男 (立教大学) ……………	180
(6) 高嶋 航 著『帝国日本とスポーツ』	鈴木 明哲 (東京学芸大学) ……………	182
(7) 山本正身 編『アジアにおける「知の伝達」の伝統と系譜』	辻本 雅史 (国立台湾大学) ……………	184
(8) 菅野瑞治也 著『ブルシェンシャフト成立史 ドイツ「学生結社」の歴史と意義』	清水 禎文 (東北大学) ……………	186
(9) 松原信継 著『アメリカにおける教育官僚制の発展と克服に関する研究 —歴史的・制度的視点から—』	大桃 敏行 (東京大学) ……………	187
(10) デイヴィド・ヴィンセント 著 (北本正章監訳、岩下 誠・相澤真一・北田佳子・渡邊福太郎訳) 『マス・リテラシーの時代—近代ヨーロッパにおける読み書きの普及と教育』	山名 淳 (京都大学) ……………	189
『日本の教育史学』第55集の誤記についてのお詫びと訂正 ……………		191